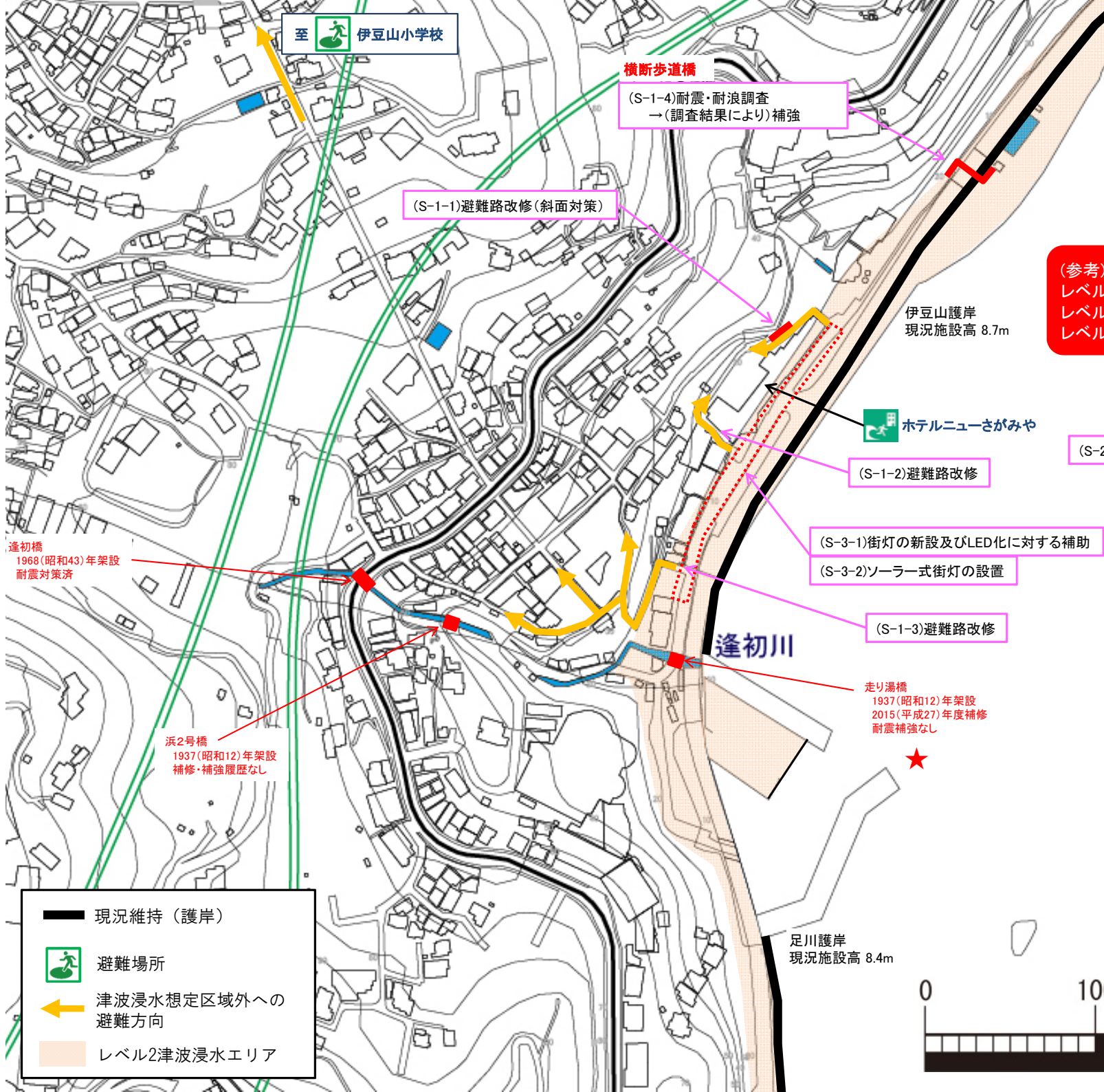


# 伊豆山地区 津波対策 平面図

(参考)  
 レベル1津波に対する必要堤防高 : T.P.+ 7.0m  
 レベル2平均津波高 : T.P.+ 9.0m  
 レベル2最高津波高(★) : T.P.+10.0m



横断歩道橋  
 (S-1-4)耐震・耐浪調査  
 →(調査結果により)補強

(S-1-1)避難路改修(斜面对策)

伊豆山護岸  
 現況施設高 8.7m

ホテルニューさがみや

(S-2)避難方向路面標示(モデル施工の結果による)

(S-1-2)避難路改修

(S-3-1)街灯の新設及びLED化に対する補助

(S-3-2)ソーラー式街灯の設置

(S-1-3)避難路改修

逢初橋  
 1968(昭和43)年架設  
 耐震対策済

逢初川

走り湯橋  
 1937(昭和12)年架設  
 2015(平成27)年度補修  
 耐震補強なし

浜2号橋  
 1937(昭和12)年架設  
 補修・補強履歴なし

足川護岸  
 現況施設高 8.4m

**ハード対策**  
 ・新たな施設整備は行わない。

**ソフト対策**  
**【情報連絡(事前準備)】**  
 ・津波避難計画作成  
 ・防災ガイドブック(ハザードマップ)全戸配布  
 ・避難行動要支援者避難支援計画(個別計画)作成  
**【情報連絡(発災後)】**  
 ・Jアラート(全国瞬時警報システム)  
 ・Jアラート緊急割込み放送(FM熱海湯河原)  
 ・緊急速報メール(エリアメール)による情報配信  
 ・メールマガジン・FMラジオ・ケーブルテレビ  
 ・同報無線デジタル化  
 ・「災害用伝言ダイヤル171」の活用による安否確認

**避難開始時間および避難時の移動速度を速める**

- 現況維持(護岸)
- 避難場所
- 津波浸水想定区域外への避難方向
- レベル2津波浸水エリア

